



囲炉裏は家族団樂をはじめ多彩な役割を果たしていた

昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」から「いろり」や「いり」になった。昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。

昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。

昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。

昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。

昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。

昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。昭和三十年代前半までは、囲炉裏や竈を「いろり」や「いり」に呼んでいた。それが「いろり」や「いり」になった。

私の町の楽しい新聞
フォーラム
forum

わたしの町のフォーラム 3万2000世帯へお届けしています

URL: <http://www.marukoshi.jp>

マルコシ リフォーム 検索

■豊かな街づくりを願って、自然派リフォーム「マルコシ」がお届けしています。
■配布地域/安佐北区 中区 東区
■年4回発行。
■編集・発行/マルコシ・フォーラム編集室
〒739-1731 広島市安佐北区落合4-1-7 ☎843-9981

住まいの物語 16

～囲炉裏のはなし～



囲炉裏の源流を遡れば、石器時代の火の炊き場や、石と土器片に囲まれた竈穴式住居の探暖にまで至る。わが家の囲炉裏の周辺は、板敷きで冬は筵が敷かれてあった。南側を背にした座は「ヨコ座」と呼ばれ、専用、西を背にした跡取りの「カミ座」は筵のうえに、莫塵が敷いてあった。跡取り以外の子どもは「シモ座」に座り、主婦は北を背に「カカ座」に座る。どちらも莫塵を敷くことは許されなかった。

自由奔放な今の生活からは考えられないが、封建的身分秩序は、共同生活における各々の役割と責任を果たすには有効だった。四方から向き合ってお互いの顔を見ながら、黙々と食事するさまはつましい。

農家は四季それぞれに多忙である。囲炉裏を囲んだ食事や休憩時間が、家族の唯一のコミュニケーションの場となっていた。今ではとうに失われた家族文化であるが、テレビなどが食卓に入り込んで家族の絆を失ったように思えてならない。夢でしかないのか。

囲炉裏は四季それぞれに多忙である。囲炉裏を囲んだ食事や休憩時間が、家族の唯一のコミュニケーションの場となっていた。今ではとうに失われた家族文化であるが、テレビなどが食卓に入り込んで家族の絆を失ったように思えてならない。夢でしかないのか。

心で、加えて多彩な機能を有していた。食事、採暖、日常の煮炊き、夜なべ仕事、集落の寄り合いなど、必要に応じて人と場所を変えながら、合理的に使用されていた懐かしい場所である。

囲炉裏の源流を遡れば、石器時代の火の炊き場や、石と土器片に囲まれた竈穴式住居の探暖にまで至る。わが家の囲炉裏の周辺は、板敷きで冬は筵が敷かれてあった。南側を背にした座は「ヨコ座」と呼ばれ、専用、西を背にした跡取りの「カミ座」は筵のうえに、莫塵が敷いてあった。跡取り以外の子どもは「シモ座」に座り、主婦は北を背に「カカ座」に座る。どちらも莫塵を敷くことは許されなかった。

農家は四季それぞれに多忙である。囲炉裏を囲んだ食事や休憩時間が、家族の唯一のコミュニケーションの場となっていた。今ではとうに失われた家族文化であるが、テレビなどが食卓に入り込んで家族の絆を失ったように思えてならない。夢でしかないのか。

囲炉裏は四季それぞれに多忙である。囲炉裏を囲んだ食事や休憩時間が、家族の唯一のコミュニケーションの場となっていた。今ではとうに失われた家族文化であるが、テレビなどが食卓に入り込んで家族の絆を失ったように思えてならない。夢でしかないのか。



封建的身分秩序は囲炉裏を中心に維持されていた

囲炉裏は四季それぞれに多忙である。囲炉裏を囲んだ食事や休憩時間が、家族の唯一のコミュニケーションの場となっていた。今ではとうに失われた家族文化であるが、テレビなどが食卓に入り込んで家族の絆を失ったように思えてならない。夢でしかないのか。

第5回 東日本大震災&広島土砂災害 復興支援チャリティイベント



宮崎神楽団
「八岐大蛇」「滝夜叉姫」
9月27日(日) 午後2時～午後5時
広島市真亀公民館(安佐北区真亀1-3-27)
チケット 2,000円(小中学生無料) 定員200名

収益の全額を東日本大震災&広島土砂災害復興支援のためにお届けします。ご来場を心よりお待ちしております。